

唯今度の展観で、博覽會や共進會出品作品がほとんど見られなかつた事は甚だ淋しい事であつた。繪畫發達の上に展覽會が如何に重要なものであるかは云ふ迄もない事で、之は今も昔も變りはないが、殊に明治初年期に於ける畫家の共進會に對する態度は眞鍮そのものであつた。従つて其處には多くの傑れた作品が生れたし、又模嶺の如く獻身的に色々の博覽會や共進會の爲に努力した畫家にとつてこれらへの出品畫を除く事は、正に點睛を缺くとさへ云へるかも知れぬ。

勿論今日それ等出品畫を搜し出すことは相當の難事たるは察するのであるが、切角これ程蒐集されたのであるから、此の方面にもう一段の努力が拂はれたならば如何に生采を増したかを感じざるを得なかつた。會期三月十八日より同二十九日に至る十二日間。(美澄)

東京美術學校春季特別展観 東京美術學校にては春季特別展観として、三月廿四、五、六の三日間、同校所藏の屏風を陳列公開した。其中、永徳の松鷹、常信の桐鳳凰、稻阜の遊鯉等の諸屏風は夙に定評のあるものであるが、蕭白の柳下鬼女、探幽の林和靖放鶴、王子猷訪戴安道圖は從來餘り公開されなかつたもので、殊に探幽の屏風は、在來の齋書きのあるものに比し筆致稍々柔輭にして所謂守景風とも云ふべき作品であり、また參考品として出陳された狩野住吉兩家傳來の粉本屏風縮圖も資料的な意味に於て注意を惹かれた。

尙曩に同校が米國ボストン美術館から寄贈されたドナテロ作コルレオーニ將軍騎馬像、ヴェロッキオ作ガッタメラータ將軍騎馬像、ミケランジェロ作メデチ家禮拜堂墳墓裝飾彫刻及びモーゼ像、ルカ・デラ・ロビヤ作唱歌壇裝飾彫刻、其他エジプト、アッシリヤ、ギリシヤ、ボロブドウル等の諸浮彫等の石膏彫刻を校舎内庭に設置準備中であつたが、この程落成したので春季特別展観を機として一般にも公開した。從來斯かる大がかりの石膏複製は本邦にては見られなかつたものであつただけに、識者のみならず一般に對しても極めて好參考資料たるを失はない。今後參觀を希望する者は同校文庫にて事務を取扱ふ由。(編輯

内 外 衆 報

部)

飛鳥文化展覽會 一昨秋大風に倒壊せる大阪四天王寺五重塔の再建計畫に奉賛し、大阪朝日新聞社は「聖德太子御建立四天王寺五重塔再建奉賛飛鳥文化大展覽會」を四月三日より二十三日迄、大阪朝日會館に於て開催した。出陳點數百十二點、うち國寶三十九點に及び、その陳列内容は多種に互り概言し難いが、その重要なるは飛鳥時代の諸佛像、聖德太子信仰を徴すべき太子の彫像、繪像、繪傳類及び太子關係の諸文獻、並びに過般の風水害後工事に伴つて發見された四天王寺出土飛鳥瓦、同五重塔基壇下出現千體佛其他同寺出品の數點等であつた。

右のうち國寶佛像是

觀世音菩薩立像	金銅製 一軀	法隆寺藏
觀世音菩薩半跏像	金銅製 一軀	四天王寺藏
菩薩立像	金銅製 一軀	法起寺藏
彌勒菩薩半跏像	金銅製 一軀	野中寺藏
釋迦如來半跏像	金銅製 一軀	觀心寺藏
觀世音菩薩立像	金銅製 一軀	同
菩薩半跏像	金銅製 一軀	神野寺藏
聖觀音立像	金銅製 一軀	鶴林寺藏
聖觀音菩薩立像	金銅製 一軀	一乘寺藏
十一面觀世音立像	金銅製 一軀	大山寺藏
觀世音菩薩立像	金銅製 一軀	同
如意輪觀世音半跏像(傳百濟國傳來)	木造 一軀	廣隆寺藏
菩薩立像	木造 一軀	金龍寺藏
阿彌陀如來及比丘像	銅板押出一面	法隆寺藏
三尊佛	押出銅造一面	唐招提寺藏
阿彌陀如來像	磚製 一面	同
〇五尊像	絹本着色一幅	法隆寺藏

の十六點を數へ、聖德太子信仰關係の美術品としては